

# 第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

## ヒナノキンチャク

*Polygala tatarinowii*

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 総管束植物分科会



令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. ヒナノキンチャク. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Polygala tatarinowii*. In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

# ヒナノキンチャク

*Polygala tatarinowii*

カテゴリー判定結果 準絶滅危惧 (NT)

基準 E

100 年間の絶滅確率が 0.1%以上 10%未満。

評価分科会： 維管束植物分科会

## 基礎情報

高さ 7–15 cm。全草ほとんど無毛。葉は卵円形～橢円形、長さ 1–3 cm、縁に鋸歯はないが毛がある。総状花序で、花は淡紅紫色で密生する。蒴果に幅 0.2–0.5 mm の翼がある。1 年草で、原野や山麓に生育する。国内では本州（太平洋側岩手県以南、日本海側山形県以南）、四国、九州に、国外では朝鮮半島、台湾、中国、フィリピン、東南アジア、ミャンマー、ブータン、インドに分布する。

## 特記事項

特になし

## 旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	ヒナノキンチャク	<i>Polygala tatarinowii</i>	EN
第4次 2019:	ヒナノキンチャク	<i>Polygala tatarinowii</i>	EN
第4次 2018:	ヒナノキンチャク	<i>Polygala tatarinowii</i>	EN
第4次 2017:	ヒナノキンチャク	<i>Polygala tatarinowii</i>	EN
第4次 2015:	ヒナノキンチャク	<i>Polygala tatarinowii</i>	EN
第4次:	ヒナノキンチャク	<i>Polygala tatarinowii</i>	EN
第3次:	ヒナノキンチャク	<i>Polygala tatarinowii</i>	EN
第2次:	—	—	—
第1次:	—	—	—

## 都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

岩手県[A ランク] 福島県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 茨城県[絶滅危惧 I A 類] 栃木県[絶滅] 群馬県[絶滅(EX)] 埼玉県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 千葉県[最重要保護生物(A)] 東京都(本土部)[本土部: 絶滅危惧 I B 類(EN)] 東京都(西多摩)[絶滅危惧 I B 類(EN)] 神奈川県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 石川県[絶滅危惧 I 類(CR)] 山梨県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 長野県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 岐阜県[絶滅危惧 I 類] 静岡県[絶滅危惧 I B 類(EN)] 三重県[絶滅(EX)] 滋賀県[絶滅危惧種] 岡山県[絶滅危惧 I 類] 広島県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)] 山口県[絶滅危惧 I B

類(EN)] 徳島県[絶滅危惧 IA 類] 愛媛県[絶滅危惧 IB 類(EN)] 高知県[絶滅危惧 II 類(VU)]  
福岡県[絶滅危惧 IA 類] 宮崎県[絶滅危惧 IA 類(CR-r)] 鹿児島県[情報不足]

## 保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

## 参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2016. 改訂新版日本の野生植物 2.  
381pp., 256pls. 平凡社，東京.

## アセスメントサマリー (Assessment summary)

*Polygala tatarinowii* has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition.  
*Polygala tatarinowii* is listed as NT under criteria E.

E. Quantitative analysis showing the probability of extinction in the wild is at least 0.1% but less than 10% within 100 years.

Law designation status for conservation	—
---	---

執筆者: 日本植物分類学会  
Author: Japanese Society for Plant Systematics

公表年月: 2025 年 3 月